

青い波北陽台

シンガポール探訪

校長 大川 周一



東経104度、北緯1.4度、福岡空港からの飛行距離4,520kmにあるチャンギ国際空港に降り立った瞬間、メガネのレンズが白く曇った。1月のシンガポールは雨季、長崎との気温差は約20度、素肌に感じた熱帯モンスーン気候の感覚はまだ記憶に新しい。到着初日は、時間の都合により空港からホテルに向かうルートでの車窓見学であったが、日本語が流暢な現地ガイドの話は、とても興味深く勉強になった。シンガポール(=サンスクリット語のシンガプーラに由来し、ライオンの町という意味を持つ)の建国から現在の都市国家に発展するまでの歴史、日本との関係性、国を構成する多様な民族とその食文化の話など、ジョークを織り交ぜた分かりやすい軽快なトークからは、聴く者を飽きさせないホスピタリティマインドが伝わってきた。シンガポールの人口密度は世界第3位(7,700人/km²)、東京23区ほどの小さな国土に中国系、マレー系、インド系、ヨーロッパ系など多種多様な民族がひしめく。夕暮れの街並みと行き交う人々の姿を車窓から眺めながら、何か底知れぬエネルギーを感じたが、生徒らの眼にはどのように映っていたのだろうか。



2日目は、シンガポール定番の観光スポットに加え、ナショナル・オーキッド・ガーデンやシンガポール国立博物館などを訪れ、熱帯の自然や東南アジアの歴史と文化について学ぶ機会を得た。個人的には、1,000種類を超える原種と2,000種類以上の交配種を見ることができたのは幸いであった。園内には、海外からのツアー客も多く、不慣れな英語で懸命にコミュニケーションを図ろうとする生徒たちの姿が印象的であった。

3日目は、班別自主研修。事前に調査・計画していた街の散策を通して、現地の人々とふれあい、積極的にコミュニケーションを図り、異文化を思いっきり体験するプログラムである。地下鉄や路線バスを使って、班員のチームワークと少しの勇気、コミュニケーション能力、タイムマネジメント力などが試されるプログラムである。私も巡回を兼ねて主要な街を散策してみた。近代的な建物や摩天楼が美しい街並みもあれば、移民が多く、エリアごとに異なる文化にふれることができるのもシンガポールの魅力である。アラブ街中心のカンポン・グラムにはイ

スラム文化の象徴である黄金色のドーム(サルタンモスク)が聳えている。また、カトン地区に足を踏み入れるとパステルカラーの建物や美しい装飾が目飛び込んでくるが、これはヨーロッパの影響を受けた中華系移民による文化が背景にある。一方、中心地から北東に位置するリトルインディアでは、民族衣装のサリーを身にまとった女性の姿をよく見かける。細い路地に入ればスパイスやジャスミンの豊かな香りが漂い、食欲をそそられる。あっという間に時間が過ぎ、街の巡回が一段落してから少し早めにホテルに戻り、先生方とロビーで各班の帰りを待つ。両手に土産を携え、満足げな顔で予定の時間内に全員無事に帰着できたことにホッと胸を撫で下ろした。

最終日は、シンガポールの南に位置するセントーサ島での研修。USS で過ごす班、循環モノレールで島内散策をする班、ピボシティまで足を伸ばし買い物を楽しむ班もいた。それぞれの班で思い思いの時を過ごし、夜は全員でマリーナベイの夜景とスペクトラショーを堪能し、日本への帰路に着いた。

山に登るための1歩は、麓でも、中腹でも、頂上近くでも、それぞれどの1歩も欠くことができないのと同じで、私たちの人生においては、どの1日も大事な人生の1日である。でも、忘れられない1歩や感動した1歩があるように、人生においても、将来に影響を及ぼすような忘れ難い日がある中には含まれている。シンガポール修学旅行は、正にそのような貴重な日々の一つであると言える。

17歳であれば人間として生きた日数は6,200日以上となる。その中のたった5日間ではあるが、未知なる体験、感じたことのない感動、さまざまな出会い、社会システムの違い、多文化社会の多様性、外国から見た日本の姿、自ら立ち居振る舞いなどいろいろなことを感じたはずである。是非、44回生の諸君には、これらの経験や学びから得たものを、各自の瑞々しい感性を伸ばすきっかけにしてほしいと願う。

結びに、3年ぶりのシンガポール修学旅行の実施に際し、多大なご理解とご協力をいただいた保護者の皆様、安全安心で快適な旅行になるようご尽力いただいたJTB添乗員や現地ガイド及び関係各位の皆様に対し、深く感謝申し上げます。

3年生 がんばれ！

毎年、部活動単位で受験生応援旗を作成し校門前から応援しています。



3年生の皆さん！最後まで、
頑張ってください。

1・2年生一同

部活動の試合結果

○令和5年度長崎県高等学校新人体育大会

- ・ラグビー部 優勝・九州大会出場（2月16日～21日 宮崎市）
- ・サッカー部 2回戦敗退
- ・バスケットボール部男子 2回戦敗退
- ・バスケットボール部女子 ベスト8
- ・バレーボール部男子 2回戦敗退
- ・バレーボール部女子 1回戦敗退

○第50回長崎県アンサンブルコンテスト

- ・吹奏楽部 木管8重奏 金賞・九州大会出場（2月11日 佐賀市）

2月の主な行事予定

- 1日（木） 前期入学者選抜 生徒登校禁止（終日）
- 3日（土） 県高校新人駅伝
3年：校内オープン模試
- 5日（月） 1年：文理探究科長崎外国語大学研修発表会
- 8日（木） 前期入学者選抜合格者発表（HP）
- 8日（木） 1・2年：学年末試験（～15日（木））
- 10日（土） 3年：校内オープン模試
- 16日（金） 南アフリカ共和国駐日大使学校訪問
- 17日（土） 1年：ハイレベル模試
2年：校外模試
- 18日（日） 2年：校外模試
- 19日（月） 2年：理数科交流学習会 in 福岡県立新宮高校
- 25日（日） 3年：国公立大学前期試験
- 26日（月） 1年：県内企業説明会
- 27日（火） 2年：普通科課題研究成果発表会
3年：中後期指導（～3月5日（火））
- 28日（水） 2年：理数科校内課題研究発表会
- 29日（木） 大掃除・式場設営・卒業式予行
記念品贈呈式・表彰式・同窓会入会式
スクールバス乗務員さんへの花束贈呈式
- 3月1日（金） 第43回卒業証書授与式

〈百人一首大会〉

1月10日（水）の午後、第1学年を対象に本校開校当時の伝統行事である百人一首大会が体育館で行なわれました。この大会は全員が参加するバラ取り戦を1回と、各クラスの代表者2名による源平戦（名人戦）1回で競技されます。校長先生、教頭先生、1学年団先生方、そして放送部の生徒による名調子の朗詠に耳を傾けながら、和やかな中にも緊張感溢れる真剣な勝負が繰り広げられ、大いに盛り上がりました。結果は次のとおりです。

第1位 6組 第2位 1組 第3位 5組



1 学年 山下 しおり

「あ、これは俺の和歌！」と言って上の句で札を取る姿がそこここにあります。

国語科では、2学期末に「和歌のリライト」を行いました。百人一首の中から気に入った句を選び、一句について調べたり解釈を話し合ったりした上で、現代詩にリライトするという活動です。歌人が詠んだ歌を通して、生徒たちは平安の川に浮かぶ紅葉の鮮やかさや、別れがたい恋人への情熱的な愛情に思いを馳せていました。リライトの過程では、この言葉で歌人の思いを表現できるだろうか、と試行錯誤しながら詩を作っていました。平安時代の貴族と、令和の高校生の中で、共鳴する思いがあったのだと思います。これから先の生活で、旅先で、恋人と過ごす時間の中で、これらの和歌をふと思い出す瞬間が来たら、その和歌は本当にその人のものになるのではないでしょうか。時代を超えた共感者がいるというのは嬉しいことです。これからも、言葉と思いを大切に、古典の世界に親しんでいきましょう。

〈バーチャル入試〉

1 学年 西村 双葉

共通テストが行われた1月13日、実は受験をしたのは3年生だけではありません。1学年では「バーチャル入試」の受験を行いました。

近年、入試の出願がオンラインで行われる大学も増加し、生徒にも入試・出願の緊張感を体験してほしいという思いのもと今年から始まったイベントです。進研模試の実施に際し、生徒は「志望校」を決め、オンラインでの出願を行いました。そのデータをもとにこちらで「受験票」を発行、生徒は13日の模試に持参をし受験をしました。今後は、返却された試験結果をもとに、志望校の偏差値との比較をし合格者は受験番号を張り出す予定です。第1志望に合格できる生徒は何人いるのでしょうか？ 次回の北陽台だよりをお楽しみください。

〈数学を学習する意味を考える〉

1 学年副主任 大畑 健

1月も終わりに近づき、2月8日（木）からは学年末試験が始まります。数学を担当している私には生徒から「数学を勉強する意味が分からない」とか「四則計算だけできれば困らない」といった声が聞こえてきます。そこで私が考える数学を学習する意味を書きたいと思います。

結論から言うと数学では「それまでに経験したことすべてが大切で、それを役立てようとする姿勢」を学ぶのだと考えています。小学校の算数では既知の問題を早く正確に解く力を磨いてきました。それを基に、数学では未知の問題を解決できるようになるための力を養います。また、獲得した知識や技術をどのように活用するかという知恵を学びます。

今回試験範囲の一部となる「場合の数」や「確率」、「図形的分野」では知識とともに自分の着眼点を大切にすることを学びます。1人1人個性があるように問題解決の着眼点も異なります。自分の考えた通りに、数え上げたり、規則性を見つけたりすることで正解にたどり着くことができます。さらに他の人の考えや模範解答等で使われている考えに触れることで、様々な見方があることを理解しましょう。実生活でもいくつかの方法で考えることができるようになると、未知の問題を解決しやすくなっています。

社会では様々な場面で数学的思考力が必要とされています。以下に「根っからの文系のためのシンプル数学発想術」という本に書いてある数学発想術の7つのパターンを紹介します。

- ① 整理する ② 順序を守る ③ 変換する ④ 抽象化する
⑤ 具体化する ⑥ 逆の視点を持つ ⑦ 数学的美的センスを磨く です。

この7つのパターンは普段無意識に使っている考え方ですが、これを意識することで数学的に発想するという意味がはっきりしてきます。図書館にも置いてありますので、ぜひ一度手にとってみてください。

定期試験に向けては高得点をとるための勉強も必要です。ただ、テストに向けての勉強だけだと学習する意味が分からなくなることもあると思います。そんな時は学習の本質について考えてみてはどうでしょうか。今経験していることは必ず役に立ちます。

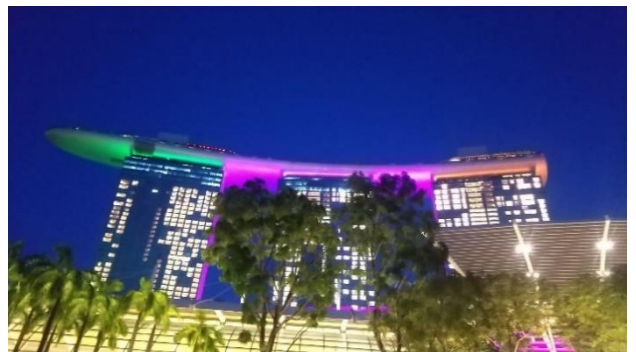
<シンガポール海外修学旅行>

シンガポール海外修学旅行を無事実施することができました。保護者の皆さまには、日程変更や費用面など、多方面でご対応いただきありがとうございました。

一部ではありますが、旅行中の様子をお届けいたします。

【A 団】1 月 14 日～18 日（3、4 組、ラグビー、サッカー、バスケットボール部）





【B團】1月21日~25日(1, 2, 5, 6, 7, 8組(A團以外))





共通テストを終えて！

共通テストが1月13日（土）14（日）の2日にわたって長崎大学で実施され、全員が無事受験することができました。現在は、三者（二者）面談を経て、出願準備が進められています。次は、来月25日からの前期試験。結果は、共通テストと二次試験との合計点で決まります。これからは、二次科目に全力を注いでください。

二次力養成に向けて、「授業」＋「自学」が大切であることは言うまでもありません。共通テスト後はクラス単位での授業ではありませんが、今まで一緒に頑張ってきた友人とともに、二次試験までの時間を有意義なものにしていきましょう。そのために、1日を大切に、帰宅後の家庭学習、休み時間やスキマ時間を有効活用しましょう。学年全体で伸びていくためには、自分だけでなく周りの人にも配慮して、互いに集中できる学習環境を作っていくことが大切です。

皆さんは、ご家族も含めてたくさんの人に支えられ応援していただいています。あとは自分の手で未来を切り開いていくのみです。3月の後期受験まで粘り続け、4月からは全員が笑顔で過ごせるように頑張ってください。私たち全職員も最後まで応援しています。

